**令和７年度　世界的課題を解決する知の『開拓者』育成事業申請書**

|  |  |
| --- | --- |
| フリガナ |  |
| 氏名（漢字等） |  |
| 氏名（ローマ字） |  |
| 生年月日 | 西暦　　　年　　月　　日（R7.4.1時点　　歳） | 性　別 |  |
| 連絡先 | 所属内線 |  | 国　籍 |  |
| E-mail |  |
| 所　　属（機関・部局・専攻等） | ※R7.4.1時点の所属を記載すること。申請時点の所属が異なる場合は併記すること。 | 職名 | ※所属と同様に記載すること。 |
| 申請者のエフォート(R7.4.1時点見込) | 研究 | ％ | 教育 | ％ | 臨床(該当者のみ) | ％ | 社会貢献活動 | ％ | その他(管理運営等) | ％ |
| 学　　位（日本語名） |  | 学　　位（英語名） |  |
| 学位取得大学 |  | 学位取得年月 | 西暦　　年　 月 |
| 博士論文のタイトル |  |
| 学歴※高校卒業時から昇順にて記載 |  |
| 学位取得後の職歴 |  |
| 研究分野 |  |
| 研究中断歴(該当がある場合) | ※出産又は育児等により研究を中断した場合は、その事由を時系列に沿って明確に記載すること。 |

|  |
| --- |
| 育成期間中に取り組む世界的課題（日本語と英語）・日本語30文字以内（英語20単語前後）で記載して下さい。 |
|  |
| 本事業への参加を通じて解決を目指す世界的課題とそのための研究・研修計画の概要・これまでの研究歴と関連させながら、なぜ提案する世界的課題の解決に取り組む必要があるのか、そのために応募者がどのような研究を行い、その研究を完遂するためにどういった技能や経験を身に着ける必要があるのか明確に説明すること。・図表などを活用し、１頁以内で分かりやすく記述すること。 |
|  |

|  |
| --- |
| 選択予定の育成トラック・本事業では、セミナー、研修、異分野の研究者や企業の若手研究者との交流等を通じて共同研究のための基礎力を向上させながら、国際共同研究、学際共同研究、産学連携、起業の４つのトラックから力を入れたい研究について選び（複数融合も可）、研究を推進していただきます。現時点で自身が選ぶ予定のトラックについて選択してください。※ 別途、研究費申請書に基づき、審査の上、１人当たり300万円/年を上限にテーラーメード型研究費を支給予定（但し、予算状況によっては、200万円/年を下回る場合もあります。）※ この選択により育成トラックを確定するものではなく、採択後のキャリアに基づきトラックを変更していくことも可能です。 |
| 選択予定のトラック | [ ]  | 国際共同研究 |[ ]  学際共同研究 |[ ]  産学連携 |[ ]  起業 |
| キャリア設計（400字程度）・本事業では、グローバルリーダーとして活躍する優秀なPIを育てることを目的としています。研究活動だけでなく、博士課程の学生への教育、グローバルリーダーとしての意識や抱負等について、前段のトラックの選択と関連させて、今後あなたがどのように取り組むかについて記述して下さい。 |
|  |
| スタートアップ研究経費の使途※ 採択後初年度に限り1人当たり50万円（予定）を上限に支給予定 |
|  |
| 研究業績（2ページ以内）・本欄には、これまでに発表した論文（学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限る。）、著書（教科書、学会抄録、講演要旨は除く。）、知的財産権、招待講演、獲得した研究費のうち、主要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記入してください。・発表論文については、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略可（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）。国際共著論文については、先頭に「＊」印を付してください。・上記の他、受賞歴、海外での教育研究歴、国際共同研究実績、産学連携、地域連携、社会貢献活動等特筆すべき事項がございましたら、併せて記入してください。 |
| 【論文】【著書】【招待講演】【外部資金（研究費等）】【知的財産権】【受賞歴】【海外経験】【国際共同研究】【産学連携】【地域連携】【社会貢献活動】 |